

## 前期基本計画 平成29年度 施策方針評価書

政 策 : 05 一人一人が学ぶよろこびを実感できるまちを目指します

基本施策 : 03 学校給食の充実

施 策 : 01 安全安心な学校給食の提供と食育の推進

<b>施策担当職・氏名</b>	学校給食センター 主任主査 谷地 知子
-----------------	---------------------

### 1. 施策の平成29年度までの実現状況を明らかにする

#### (1) 施策の内容

	学校給食に安全で新鮮な地場産品等の活用や給食センターの施設設備等の計画的な改修整備を行うことにより、児童・生徒に安全安心な学校給食を提供します。 また、児童・生徒が将来にわたって健康に生活していくため、望ましい食習慣を理解し実践できるよう、学校と連携し食の指導の充実に努めます。 滝沢中央小学校の開校に向けて、給食提供にかかる環境整備を計画的に進めてまいります。
--	---

#### (2) 施策目標値の達成状況

No	この施策に関わる施策目標指標	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値					目標値	進捗状況
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	進捗率(%)	
1	暮ら し  単 位 kg 学校給食食材生産供給組合からの年間納入量	9,538	9,800	9,800	9,800	9,900	9,900	B	
			9,805	9,114	9,588	-	-	13.8	
2	幸 福  単 位 回 家族一緒に食事をする回数（1週間）	10.12	10.5	11	11.5	12	12.5	B	
			9.51	10.17	10.64	-	-	21.8	
	単 位								

#### (3) 施策を構成する事務事業及び目標値の達成状況

No	事務事業名 事務事業目標指標	推 移	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
1	1168 学校給食事業 食に関する指導回数（クラス数）  単 位 クラス	目標値	100	100	100	100	100	110
		実績	139	127	137	140	-	-
2	2718 学校給食施設改善事業 調理等に影響を及ぼす故障発生割合  単 位 %(事故件数/ 稼働日数)	目標値	2	2	2	2	2	2
		実績	2.1	1	0.5	1.6	-	-
3	6124 滝沢市立学校給食センター運営委員会事務 開催回数  単 位 回	目標値	2	2	3	2	2	2
		実績	3	2	2	2	-	-
	単 位	目標値						
		実績						
	単 位	目標値						
		実績						

## 前期基本計画 平成29年度 施策方針評価書

政 策 : 05 一人一人が学ぶよるこびを実感できるまちを目指します

基本施策 : 03 学校給食の充実

施 策 : 01 安全安心な学校給食の提供と食育の推進

施策担当職・氏名 学校給食センター 主任主査 谷地 知子

## 2. 施策の実現に向けての平成29年度までの取り組み状況を分析する

## (1) 施策目標の達成（実現）に向けた基本計画期間内の取り組みと方針についての達成（実現）状況

A	達成した
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安心安全な学校給食を提供するため、地場農産物の使用を推進しました。</li> <li>・学校給食を安全かつ確実に提供するため、計画的に施設の修理修繕を実施しました。</li> <li>・給食への関心や食べることへの意欲を持たせることを目的に「希望献立」を実施し、正しい食生活を理解することを目的に「食に関する指導」を実施しました。</li> </ul>

## (2) 基本計画内の取り組みと方針のうち、平成29年度の重点課題の達成（実現）状況

A	達成した
	<p>【安心安全な学校給食を提供と職員の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・滝沢市学校給食食材生産供給組合からの年間納入量、食に関する指導回数</li> </ul> <p>【重点課題に対する達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地場農産物の使用量を増加しました。(H28:9, 114kg、H29:9, 588kg)</li> <li>・食に関する指導回数を増加しました。(H28:137回、H29:140回)</li> </ul>

## 3. 施策の実現に向けての平成29年度実施後での変化を認識する

## (1) 施策の実現に影響する社会環境変化

B	社会環境変化あり
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食物アレルギーの種類の多様化に対する対応</li> <li>・塩分摂取量の削減のための減塩対策</li> </ul>

## (2) 基本施策との関連性から施策の見直し

A	必要なし
	政策達成のため、引き続き同一内容の基本施策の実施が必須であるため、見直しの必要はありません。

## 4. 施策の実現に向けての今後の取り組みと方向性を明らかにする

## (1) 平成31年度方針策定に際し、今後の方向性や引継課題

B	課題あり
	<p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き安全安心な学校給食の提供にあたり、「施設整備の計画的な改修修繕」及び「地場農産物の活用を促進した食育推進」を図っていく必要があります。</li> </ul> <p>【引継課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個別施設計画の策定による計画的な施設設備の改修・修繕</li> <li>・気候変動に対応した地場農産物受入量の安全確保</li> <li>・生産供給組合員の高齢化による事業継続の不透明化</li> </ul>

